

特別展

Treasures
from
Ninnaji
Temple
and
Omuro

仁 和 寺 と
御 室 派 の
み ぼ と け

— 天平と真言密教の名宝 —

2018年

1月16日(火) — 3月11日(日)

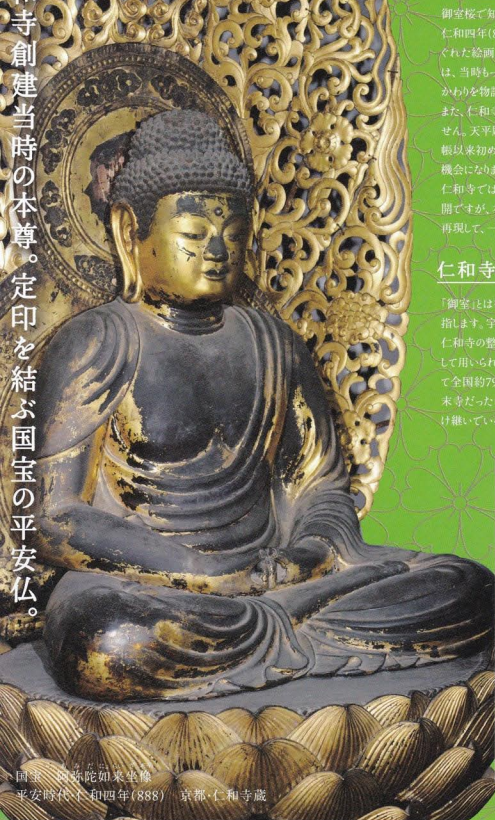
東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM HEISEIKAN (EISEI PARK) [甲斐]

“天平の秘仏”

葛井寺の国宝
「千手観音菩薩坐像」
ついに東京へ!

展示期間

2月14日(水)~
3月11日(日)



国宝 弥勒如来坐像
平安時代(仁和四年(886)) 京都・仁和寺蔵

開催趣旨

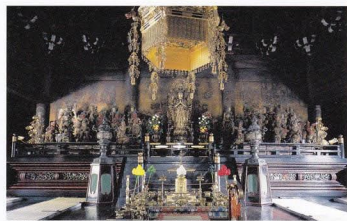
御室様と呼ばれる仁和寺は、光孝天皇が仁和二年(886)に建立を発願し、次代の宇多天皇が仁和四年(888)に完成させた真言密教の寺院です。歴史・天皇家の厚い帰依を受けたことから、すぐれた絵画、書跡、彫刻、工芸品が伝わります。創建時の本尊である阿彌陀如来坐像(国宝)は、当時もっともすぐれた工師の作品です。また、高倉天皇宸翰消息(国宝)は皇室との深いかかわりを物語るものです。本展覧会では、これら仁和寺に伝わる名品を一堂に紹介します。また、仁和寺を総本山とする観音堂寺院は全国に約790箇所あり、すぐれた仏像も少なくありません。天平彫刻の名品として知られる葛井寺の千手観音菩薩坐像(国宝)が、江戸時代の出廻帳以来初めて東京で公開されるほか、普段目にすることができない多くの秘仏が見られる貴重な機会となります。

仁和寺では現在、観音堂の解体修理が行われています。観音堂は修業の場であるため非公開ですが、本展覧会では33体の安置仏を展示すると共に、堂内の壁画を高精細画像によって再現して、一般にはふれることのできない堂内の豊かな空気を体感していただきます。

仁和寺と御室派

「御室止はもとど、仁和寺を建立した宇多法皇のためにもうけられた室(僧房、僧侶の住居)を指します。宇多是息子の醍醐天皇に天皇位を譲った後、出家して法皇となり、真言寺院としての仁和寺の整備に力を入れました。鎌倉時代以降は、この「御室」が仁和寺そのものを示す呼称として用いられるようになっていきます。その「御室」を冠した御室派とは、現在、仁和寺を総本山として全国約790箇所寺で形成される真言宗の一派のことです。御室派は、近世以前から仁和寺の末寺だった寺院を集めて形成されたもので、歴史的、伝統的な仁和寺とその末寺の安否をよく受け継いでいるものと言えるでしょう。

江戸時代に再建され、一般には非公開の仁和寺・観音堂を展示室に再現!



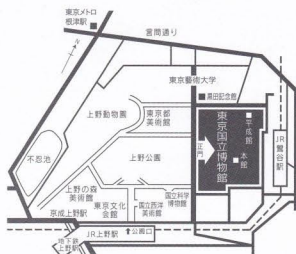
観音堂内部

撮影 横山健哉

P

東京国立博物館 平成館^{【上野公園】}

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/>



- [会 期] 2018年(平成30年)1月16日(火)～3月11日(日) ※会期中に展示替があります
 [会 場] 東京国立博物館 平成館(上野公園)
 [開館時間] 午前9時30分～午後5時 *毎週金・土曜日は、午後9時まで *入館は閉館の30分前まで
 [休 館 日] 月曜日 *ただし2月12日(月・祝)は開館、2月13日(火)は休館
 [主 催] 東京国立博物館、真言宗御室派総本山仁和寺、読売新聞社
 [特別協力] 仁和会
 [協 力] サビア
 [協 賛] 光村印刷
 [問合せ] 03-5777-8600(ハローダイヤル)

[観覧料]	一般	大学生	高校生
当日	1600円	1200円	900円
前売	1400円	1000円	700円
団体	1300円	900円	600円

*中学生以下無料 *団体は20名以上 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などを提示ください) *前売券は、2017年11月1日(火)～2018年1月15日(月)まで、東京国立博物館 正門テラス売場(窓口、開館のみ)、展覧会公式サイトほか、主要プレイガイドにて発売。

JR上野駅公園口、鶯谷駅南口より徒歩10分
 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅・東京メトロ千代田線根津駅、
 京成電鉄京成上野駅より徒歩15分

展覧会公式サイト <http://ninnaji2018.com/>

